

## さかづき：日本人の人生のマイルストーン

「さかづき」と呼ばれる小さく繊細な酒器には、深い文化的意義がある。「人生十盃」という言葉があるように、日本酒は日本人の人生の中で最も重要な場面の多くに登場する。新婚の夫婦が過去・現在・未来を意味する3つのさかづきを使って酒を酌み交わす「三三九度」の儀式から、お通夜での思い出の酒まで、酒は日本人の生活の中で、祝い事や厳粛な場面に登場する。その意味で、さかづきを手にする事は、人生の縮図を手にするようなものである。

市之倉さかづき美術館では約1500点のさかづきを収集してきた。これらのほとんどが、市之倉という小さな村で制作されたものであるが、この村は19世紀から20世紀にかけてさかづきの国内総生産量の半分以上を占めていた。また、国内の他地域の作品も含まれており、釉薬の技術や地域のスタイルがどのように変化していったかを知ることができる。